



## ツバキ (椿)

木偏に春と書くツバキは、春の訪れの喜びを伝える木ということで、万葉の昔から人々に慕われ、茶花としてもよく使われる上品な花木です。

ツバキという名称は、葉に光沢があるため“艶葉木”から転じたという説、葉が厚いことから“厚葉木”の転じたもの、常緑であるため“寿葉木”の転じたものなど、葉の特徴を語源とする説が多くあります。

花の底に蜜を分泌し、メジロなどがこれを吸いにきて花粉をまき散らす、日本では珍しい“鳥媒花”のひとつで、栽培品種は、花色・花型とも多様です。

「川上のつらつら椿つらつらに

見れども飽かず巨勢の春野は」

春 甘 蔵 首 老

茨 城 県  
行 政 資 料